

## はしがき

情報電子化の流れを受け、「電子書籍元年」と言われたのが2010年。今年こそ「電子書籍元年」であるとも言われておりますが、その行方には未だ不透明なところもあります。一方、情報電子化に対応すべく、著作権法、国立国会図書館法は、今年を含め数次にわたる改正がなされ、新たな図書館サービスも着々と生まれています。

また、深刻化する活字・読書離れを受け、同じく2010年は「国民読書年」でした。文字によって伝えられてきた知的遺産の重要性、読書の必要性が訴えられ、学校図書館では調べ学習、そして司書の役割が改めて注目されています。

活字離れと言われながら、インターネット上には膨大な文字情報が溢れており、こうした情報が社会的に大きな影響力を持つ時代となっていますし、人々は、ホームページ、ブログ、ツイッターなどを利用して、自ら情報を発信する立場にもなり、電子書籍を遥かに超えた文字情報の多様性が進み、人々のニーズも日々変化しています。

今後、人々が図書館に何を求め、図書館はどのようなサービスを提供していくのか。将来は未知数ですが、これまで県内の図書館は、常に時代の要請に応じて多様なサービスを生み出してまいりました。

当協会も80年を超える活動を積み重ね、現在も、調査・研究、出版、研修などの面で、加盟館の活動を支える役割を担っております。引き続き、各加盟の図書館が利用者のニーズに応えたサービスを提供されますことを期待しております。

本年も、当協会の調査研究活動の一環として、「神奈川の図書館(2012年版)」を発行する運びとなりました。本誌は、各加盟の図書館活動の実態を明らかにすることにより、加盟館相互の連携と協力、そして、図書館活動の充実に資することを目的としております。

まずは、作成に当たってご協力いただいた各加盟館の皆様にご感謝申し上げますとともに、本誌が、各館の現状の把握、また、将来に向けた検討に際しまして、皆様にとって有意義なものとして活用されますことを期待しております。

また、図書館関係者をはじめ、生涯学習施設、学校教育機関、研究機関など、神奈川の図書館を支援していただける皆様にもご活用いただけることを願っております。

2012年9月

神奈川県図書館協会  
会長 平野 達夫

# 神奈川県内図書館等の動き

(2011年4月～2012年3月)

## 1 はじめに

### 1) 加盟館数(2012年4月現在)

公共図書館75館、大学図書館37館、専門図書館14館、合計126館、個人会員の加入数は14名

※神奈川県社会福祉協議会福祉情報資料室が2011年3月、川崎市盲人図書館が2011年3月に退会した。

### 2) 公立図書館等の設置状況

県立は2館設置

市については19市の全市が設置

町村については、図書館(室)条例制定は14町村のうち7町(葉山町・寒川町・大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町・清川村)となり、町村の設置率は50%

その他公民館条例等により図書館活動を行っている町は7町

### 3) 本協会の動き

- (1) 第13回図書館総合展(パシフィコ横浜開催)に参加、ブース展示「東日本大震災と神奈川県内図書館アンケート『震災の影響について』から」(広報委員会が担当)及び、フォーラム「東日本大震災、そのとき図書館は」(研修委員会が担当) (2011年11月)

## 2 公共図書館

- (1) 横浜市図書館 都筑図書館、戸塚図書館等司書補助業務委託導入 (2011年4月)
- (2) 横浜市図書館 行政サービスコーナーでの図書取次サービスをオンライン化 (2011年4月)
- (3) 横浜市図書館 簡易版蔵書検索システム開始 (2011年4月)
- (4) 横浜市図書館 横浜市立図書館メールマガジンの配信を開始 (2011年4月)
- (5) 藤沢市図書館 辻堂市民図書館の運営を「NPO法人市民の図書館・ふじさわ」に業務委託(2011年4月)
- (6) 小田原市立図書館 東日本大震災の影響で休止していた午後7時までの開館を、4月15日以降かもめ図書館・市立図書館とも再開 (2011年4月)
- (7) 海老名市立図書館 中央図書館・有馬図書館の運営業務委託開始 (2011年4月～2013年度末)
- (8) 川崎市立図書館 東日本大震災の市内避難者に対する貸出サービス開始 (2011年5月)
- (9) 横浜市図書館 横浜市立図書館創立90周年、記念事業開催 (2011年6月)
- (10) 座間市立図書館 自動火災報知機設備更新修理 (2011年6月)
- (11) 横浜市図書館 節電のため9月まで、中央図書館を除く地域図書館で週1日輪番による休館を実施 (2011年7月)
- (12) 鎌倉市図書館 鎌倉市図書館開館百周年記念式典の開催・「鎌倉図書館百年史」の刊行(2011年7月)
- (13) 松田町図書館 パソコンシステムの入替えを行い、Webからの検索、予約の受付が可能となる (2011年7月)
- (14) 松田町図書館 地震への備えとして、図書館の柱を補強する工事を実施 (2011年7月)
- (15) 川崎市立図書館 福島民報・民友の閲覧開始 (2011年8月)
- (16) 川崎市立図書館 柿生分館ICタグ貼付 (2011年8月)
- (17) 箱根町社会教育センター 図書館システム更新 (2011年8月)
- (18) 川崎市立図書館 日吉、橘分館ICタグ貼付 (2011年9月)
- (19) 川崎市立図書館 「映像のまち・かわさき」連携事業川崎市内ロケパネル展 市立図書館巡回 関連本展示ブックガイド配布 (2011年9月)
- (20) 川崎市立図書館 幸図書館電動書庫リニューアル工事 (2011年10月)
- (21) 川崎市立図書館 麻生図書館ICタグ貼付 (2011年10月)
- (22) 藤沢市図書館 多摩大学湘南キャンパス図書館と相互協力協定開始 (2011年10月)
- (23) 川崎市立図書館 川崎フロンターレ試合開始前の等々力陸上競技場付近で「ブックランドTODORO KI」開催 (2011年11月)
- (24) 川崎市立図書館 9都県市首脳会議席上で、図書館企画の共同事業を行うことを9都県市首脳が合意 (2011年11月)

- (25) 秦野市立図書館 「山岳コーナー」の設置 (2011年11月)
- (26) 南足柄市立図書館 図書館に親んでもらうことにより利用の促進を図るため、新たに「としょかんまつり」を開催 市立図書館でクリスマスカード作り、おはなし会、映画会、竹とんぼ作りなどを実施 (2011年11月)
- (27) 秦野市立図書館 東海大学前駅連絡所の資料受渡業務開始 (2011年12月)
- (28) 秦野市立図書館 前田夕暮没後60年記念特別講演「前田夕暮と釋迢空(折口信夫)」- 雑誌「日光」の歌人たち-及び特別展 (2011年12月～2012年2月)
- (29) 横浜市図書館 地域情報発信のための基盤整備モデル事業実施 (2012年1月)
- (30) 川崎市立図書館 町田市と川崎市との相互利用協定締結(施行は4月から) (2012年1月)
- (31) 相模原市立図書館 学校支援図書館セットの整備及び配送システムの導入 (2012年1月)
- (32) 大和市立図書館 図書館業務用オンラインシステム入れ替え(GPRIME for SaaS/図書館Lics-Web II) (2012年1月)
- (33) 大和市立図書館 渋谷学習センター図書室貸出時間を21時まで延長 (2012年2月)
- (34) 箱根町社会教育センター 移動図書館車更新(住民生活に光を注ぐ交付金を活用) (2012年2月)
- (35) 川崎市立図書館 返却の長期延滞に対する新利用制限開始(一定期間の貸出・予約受付停止・予約取り消し) (2012年3月)
- (36) 川崎市立図書館 図書館法改正に伴う図書館設置条例の改正 (2012年3月)
- (37) 川崎市立図書館 川崎図書館ICタグ貼付 (2012年3月)
- (38) 藤沢市図書館 長期延滞者に対する利用制限開始 (2012年3月)
- (39) 小田原市立図書館 「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、2011年度に図書約5,000冊を購入(2011年度繰越明許費) (2012年3月)
- (40) 逗子市立図書館 子ども読書活動推進計画(平成25年3月)策定

### 3 大学図書館

- (1) 横浜商科大学図書館 みどりキャンパス図書室は休館 (2009年4月より)
- (2) 神奈川県立保健福祉大学附属図書館 長期休業期間中の平日の開館時間の延長(19:00まで)及び土日開館(9:00-17:00)を開始 (2011年4月)
- (3) 神奈川大学図書館 B1F第二グループ閲覧室を飲物可のスペースに変更、什器入れ替え、自販機設置(通称リフレッシュルーム) (2011年4月)
- (4) 神奈川大学図書館 東日本大震災に伴う節電等対応のため開館時間の短縮、休日開館の中止を実施 (2011年4月)
- (5) 専修大学図書館 春の企画展「水滸伝VS八犬伝」 (2011年4月)
- (6) 桐蔭横浜大学大学情報センター 開館時間変更[変更前]9:00-21:00(通年)⇒[変更後]9:00-19:00(月-土)、日・祝は休館 (2011年4月)
- (7) 日本大学生物資源科学部図書館 図書館利用案内を電子ブック化、学生サークル制作の利用案内ビデオ版「Library Walk」とあわせてホームページに掲載 (2011年5月)
- (8) 湘北短期大学図書館 図書館3階のテーブルタイプの閲覧席を個人ブースタイプにリニューアル (2011年6月)
- (9) 関東学院大学図書館 図書館本館1階ホール改装 (2011年9月)
- (10) 文教大学湘南図書館 ラーニングスクエア(学習支援室)開室 (2011年9月)
- (11) 青山学院大学万代記念図書館(相模原分館) 自動化書庫増設 (2011年10月)
- (12) 小田原女子短期大学図書館 図書館所蔵資料展開催(一般公開)「絵本作家ターシャ・テューダーと過ごす秋のひとつとき」小峰祭同時開催 2011年10月9日(日)・10日(月・祝) (2011年10月)
- (13) 湘南工科大学附属図書館 2011年8月から10月末まで図書館は2級防音工事に伴い閉館し、防音仕様のサッシや空調などの改修工事を実施 同時に大学のバリアフリー化の一環として、図書館の玄関を自動ドアにし、エレベータを設置 参考図書の書架の向きを変え、車椅子が往来できるスペースの確保 (2011年11月)
- (14) 専修大学図書館 特別展「和うるわし-日本の文字と書物の歴史-」 (2011年11月)

- (15)小田原女子短期大学図書館 図書館システム更新(ハードウェア入替作業実施) (2011年12月)
- (16)神奈川県立神奈川近代文学館 1F 2F(吹き抜け)閲覧室の燻蒸実施(2010年度夏季カビ発生対応、当初2011年3月を予定) (2012年2月)
- (17)日本大学生物資源科学部図書館 閉架書庫解体に伴う蔵書処分、31,997冊除籍 リサイクル資料として学内者に一部放出 (2012年2月)
- (18)神奈川県立神奈川近代文学館 館内エレベーター改修工事 (2012年2.3月)

#### 4 専門図書館

- (1)神奈川県立神奈川近代文学館 指定管理者として文学館の運営にあたってきた財団法人神奈川文学振興会が、公益認定を得て公益財団法人神奈川文学振興会に名称変更し、設立登記 (2011年4月)
- (2)大倉精神文化研究所附属図書館 大倉山講演会「昔話にみる人間観、自然観、宗教観」全4回 (2011年4～7月)
- (3)大倉精神文化研究所附属図書館 愛知大学との共催公開講演会『源氏物語』千年の魅力(愛知大学との共催) (2011年7月)
- (4)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「歴史が語る震災」 (2011年7.8月)
- (5)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「ちょっと昔の港北」(前期) (2011年7.8月)
- (6)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「ちょっと昔の港北」(後期) (2011年8.9月)
- (7)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展『日本精神文化曼荼羅』に描かれた先哲たち(その1) (2011年9.10月)
- (8)神奈川県立神奈川近代文学館 施設公開「ライトセンターフェスティバル&「あい・あい」ひろば2011」を開催 参加者1,780人 (2011年11月)
- (9)神奈川県立神奈川近代文学館 第2回ライトセンター音楽祭開催 参加者632人 (2011年11月)
- (10)大倉精神文化研究所附属図書館 第27回秋の芸術祭参加講演会「インドの詩聖タゴールと日本文化」(インド大使館後援) (2011年11月)
- (11)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「インドの詩聖タゴールと大倉精神文化研究所展」 (2011年11.12月)
- (12)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展『日本精神文化曼荼羅』に描かれた先哲たち(その2) (2012年1.2月)
- (13)神奈川県立神奈川近代文学館 3月20日開催の公益財団法人神奈川文学振興会の理事会で、2012年4月1日付けで作家の辻原登氏が新理事長に就任することが決定(辻原氏は神奈川近代文学館館長も兼務) (2012年3月)
- (14)神奈川県立公文書館 神奈川デジタルアーカイブ開始 (2012年3月)
- (15)神奈川県立地球市民かながわプラザ情報フォーラム・映像ライブラリー 「住民生活に光をそそぐ交付金」により、新たに約1,300点の図書と約150点の映像資料を整備 同時に映像ライブラリーのリニューアルを行い、「こどもコーナー」などを充実 (2012年3月)
- (16)大倉精神文化研究所附属図書館 大倉山講演会「日本人の信仰心」第1回 (2012年3月)
- (17)大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「芥川賞・直木賞 歴代受賞作品たち」 (2012年3月)
- (18)大倉精神文化研究所附属図書館 財団法人より公益財団法人に移行 (2012年4月)

#### 5 刊行物 <神奈川県図書館協会編集・刊行>

●神奈川県郷土資料集成	第13集	神社明細帳(三浦郡)	2,500円
●神奈川県郷土資料集成	第12集	相模国鎌倉郡村誌	5,000円
●神奈川県郷土資料集成	第11集	神奈川地誌	1,800円
●神奈川県郷土資料集成	第8集	和歌篇	1,400円